

第3章 事業活動計画

基本方針

- 1 人々の営みを基礎とする「美濃焼」と「土岐市の歴史・文化」の掘り起こし・発信・共有
- 2 市民や多様な活動者とともに活動・成長し続ける拠点づくり
- 3 訪れるすべての人を対象とする、文化資源を活かした地域の新たな価値の創造

- 隣接する織部の里公園や周辺史跡を一体に、事業活動を実施
- シビックプライドやアイデンティティの醸成、文化資源の保存・継承を図り、土岐市の課題の解決の寄与をめざす

第4章 施設・収蔵計画

基本方針

- 1 博物館の基盤となる機能の充実・強化
- 2 多様な利用者が気軽に訪れ、活動・交流する、すべての人にひらかれた施設
- 3 公園・史跡との一体性、周辺環境への配慮

- 公開承認施設相当の展示・収蔵環境を実現し、IPMの手法導入も検討
- 資料に応じた保存環境（館外保管も含む）
- ユニバーサルデザインを前提とする整備

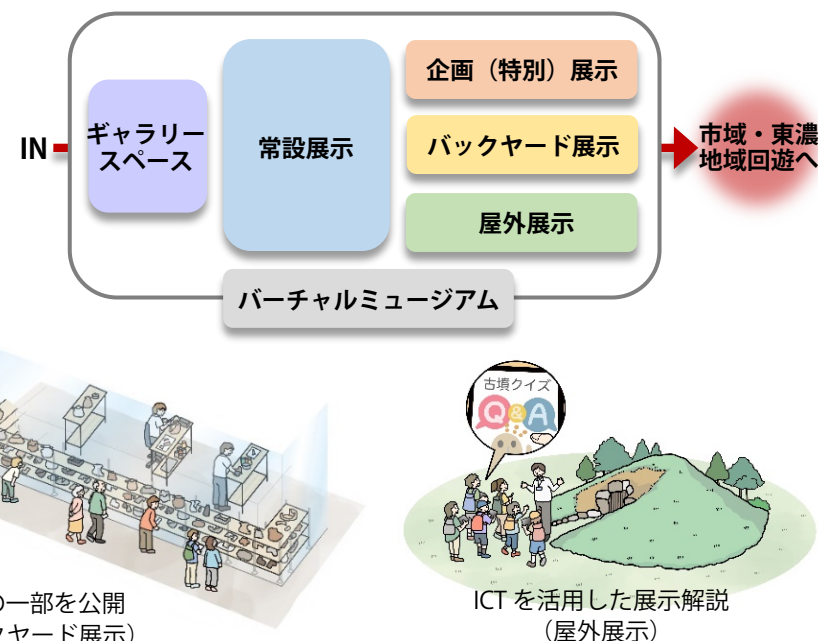
第5章 展示計画

基本方針

- 1 「美濃焼」「土岐市の歴史・文化」をテーマとし、それをつくった人々の営みを基礎とする展示
- 2 子どもたちや障がい者など誰もが学び、楽しめる展示
- 3 市民や多様な活動者との協働・連携の成果を活かした展示
- 4 資料やテーマに応じてフレキシブルな展開を可能とする、更新性に優れた展示

展示の全体構成・イメージ

- 「ギャラリースペース」での出会いや気付き、「常設展示」での新たな発見や学び、さらなる探求として「企画（特別）展示」や「バックヤード展示」「屋外展示」を展開し、まち全体に点在する様々な文化資源に触れてみたい展示をめざす



第6章 管理運営計画

- より充実した博物館活動へ向け、人員体制や市民参画のしくみを検討し、持続的・効果的な施設運営を実施

第7章 今後の事業推進に向けて

- 基本計画では、施設や展示、管理運営などの各計画の具体化を図り、土岐市ならではの特色ある施設を検討
- 市民からの意見やアイデアを適宜募集

土岐市文化財保存活用拠点（仮称）基本構想

概要版

第1章 検討経緯および現況の整理

- 美濃桃山陶を中心とする美濃焼の歴史をテーマとする博物館「土岐市美濃陶磁歴史館（泉町久尻）」は、開館40年以上が経過し、老朽化により将来にわたって増え続ける文化財を受け継いでいくには厳しい状況
- 文化財の保存・活用に加え、「国史跡元屋敷陶器窯跡」や「国史跡乙塚古墳附段尻巻古墳」など周辺史跡の活用ならびに市域全体のにぎわい創出等を目的とする「土岐市文化財保存活用拠点（仮称）（＝新博物館）」が必要

土岐市の現況と課題

1. 「美濃焼発祥の地・やきもの生産量日本一」の唯一無二のまち
2. まちへの愛着の希薄化と市民参画意識の高まり
3. JR土岐市駅周辺の衰退・空洞化

土岐市美濃陶磁歴史館の特性と課題

- <特性>
1. 美濃桃山陶など重要文化財2,431点を含む多様な収蔵品
 2. 美濃焼の歴史を中心とした展示普及活動
 3. アクセスや周辺環境、近隣博物館との連携・交流
-
- <課題> 建物・設備の老朽化／博物館としての機能不足

第2章 基本的な考え方

開かれた扉 ー豊かな文化資源を蓄え、市民とともに新たな文化を創造し、土岐市の未来をひらくー

土岐市には風土に育まれた歴史と文化があり、それらを知る手がかりとなる貴重な文化資源があります。新博物館は土岐市の多様な文化資源を蓄え、市民とともに活用し、豊かな地域社会をつくり、未来へとつなげていく拠点となります。

目的① 指定文化財を含む文化資源の保存

目的② 文化資源を活用した学びや交流の創出

めざす姿

文化資源を守るとともに、ふるさとへの愛着や誇りが育つ、次代へつなげるミュージアム

多様な市民や団体とともに学び、つながり、活動が広がり続けるミュージアム

新博物館が対象とするもの・テーマ

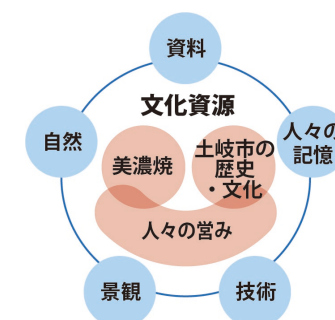
- 対象：文化資源
- テーマ：「人々の営み」を基礎とした「美濃焼」「土岐市の歴史・文化」文化資源…モノだけでなく、人々の記憶、技術、景観、自然など有形無形の資料の総体で、新たな文化を生み出す資源となるもの

ターゲット

- 土岐市に住み、働き、学ぶ人々、土岐市を訪れる多様な人々

新博物館の使命と機能

- ① 土岐市の歴史や文化を守り、未来に伝える
- ② 美濃桃山陶をはじめとする美濃焼1400年の歴史・文化を発信する
- ③ 市民をはじめ、大学・企業等と連携した活動を展開する
- ④ 文化資源を結び、美濃焼や土岐市の魅力に出会う入口となる
- ⑤ 多様な人々が気軽に訪れ楽しめる、開かれた場とする



博物館基盤機能

つながり機能

にぎわい機能

理念

開かれた扉

—豊かな文化資源を蓄え、市民とともに新たな文化を創造し、土岐市の未来をひらく—

つながり機能

博物館活動をひらく

市民や地域団体、研究機関など多様な活動者と連携し、博物館の事業を横断的に展開する機能

土岐市の文化資源を活用したあらゆる館活動を多様な市民や団体等と連携して行うほか、その連携ネットワークを強化するなどし、より充実した博物館活動を展開します。

博物館基盤機能

文化資源をまもり、ひらく

土岐市のもつ貴重な文化資源を守り発信する、すべての活動の土台となる機能

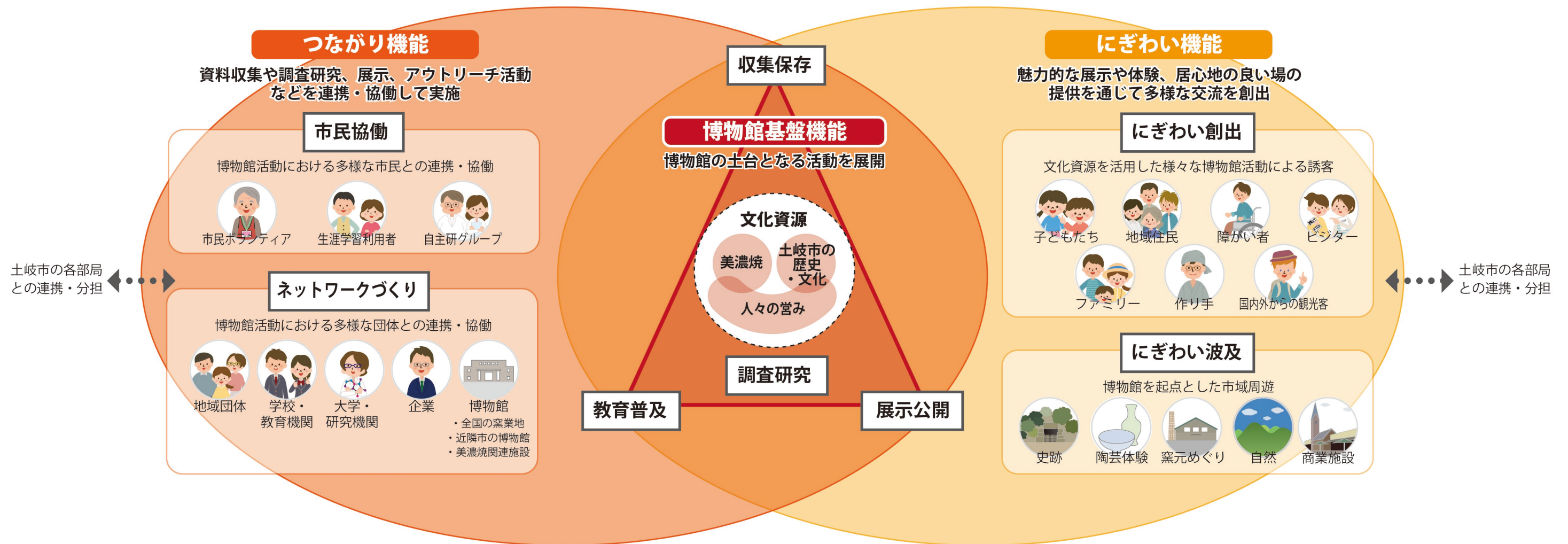
土岐市の文化資源を核に、これまでの活動実績を活かしながら、「調査研究」「収集保存」「展示公開」「教育普及」といった博物館の土台となる機能の拡充・強化を図ります。

にぎわい機能

すべての人にひらく、まちにひらく

間口を広げ、多様な人々によるにぎわいを生み出し、そのにぎわいをまち全体へ広げる機能

土岐市の文化資源を活用した、市民・ビジターの来訪意欲を高める工夫や市域回遊を促すしかけにより、新博物館のにぎわいを創出、そしてまち全体のにぎわい波及を目指します。



<期待される効果> “土岐市の未来をひらく”

- 市民が、人々の営みを基礎とする「美濃焼」「土岐市の歴史・文化」に触れ、親しむ場や機会・きっかけを創出し、シビックプライド（＝ふるさとへの誇りや愛着）や自分の言葉でふるさと・日本の魅力を語れるアイデンティティを醸成、土岐市が有する文化資源を保存・継承
- 文化資源を活用した多様且つ継続的な活動が、まちの活性化やにぎわい創出をはじめとする土岐市全体の地域的・社会的課題の解決に寄与